

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなぐコミュニケーション誌

# FECO NEWS

フェコニュース

2014. Winter vol.47

里山の風景 vol.7

寒く凍えていた冬ももう少しで終わります。七十二候の第一候は「東風解凍」。東風が厚い氷を解かし始める頃です。さあ、そろそろ縮こまっていた身も心も伸ばしましょう。春の訪れが待ち遠しい季節になりました。



# ベトナムサパ地域へのボランティア活動

フクナガエンジニアリングはベトナムに現地法人があるなどベトナムとは深い関わりをもっています。昨年9月に鉄砲水の災害に見舞われたサパ地域でのボランティア活動を少しご紹介させていただきます。

## 2013年9月4日の鉄砲水の災害について

毎年8月から10月にかけて山岳地方はよく災害を受けます。昨年2013年の9月4日には、サパでは異常な鉄砲水が起きました。



死者は20人以下でしたが、家や学校、病院、市役所など様々な公共の施設が流されてしまい、甚大な被害を受けました。サパの人々は自分たちの力でこの災害を乗り越えることがとても困難な状況だったのです。

政府からの援助があったのですが、ベトナム市民の支援運動も盛んになってきました。

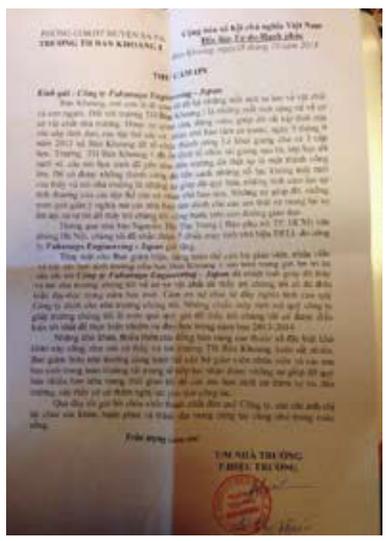
この時期にちょうど弊社社長の福永が出張でベトナムへ行っていました。ある新聞記事を通じて、サパのある小学校が流されてしまい、政府の援助で学校を建て直すことができたが、パソコン室にあつたら5台のパソコンを再び買うことができない状態ということを知りました。

そこですぐに本社に電話し、早急にその小学校に5台のパソコンを送るようになり手配しました。

1か月後、パソコンがその小学校に届きました。中古品だったのですがサパの子供たちはそのパソコンを、宝物のように喜んでくれました。

そして数週間後、サパ小学校から学長のサイン入りのお礼状が届きました。

これからもこのようなベトナムとの深い繋がりを持つために、フクナガでできることをやっていきたいと思います。



マイ・チー・タン・ガー



**サパにおける生活事情**

最近サパの中心部は観光地として発展しているため、サービス業で生活している人たちの生活はかなり改善されました。しかし、それは一部分だけです。サパは山岳地方で、識字率が低く、ほとんど農業で生活していますが、農業の技術が遅れていること、気候がとても厳しいことで収穫の効率が良くありません。したがって、サパの人たちの生活はとても貧しく、自給自足がまだ多い状態です。

**サパって  
どんなところ?**

サパはハノイから約350km離れたベトナム北部に位置し、ラオカイ (Lào Cai) 県の標高1600mの山岳地にある町です。サパの人口はおよそ14万人でモン族やザオ族、ザイ族、フーラー族、タイ族などの54種類の民族が100年前から住んでいます。

**歴史**

15世紀からいくつかの民族がサパ地域に暮らしていました。1890年代サパの南側はフランスの管轄下になり、サパを植民地としてきたフランス人はこの地区を観光地としての可能性があると感じていました。

1920年代には今後発展していく可能性があったので富裕層のフランス人はいくつも別荘を建てました。第二次世界大戦の終わりにトンキンでの反乱は1954年まで続き、多くのベトナム人が避難をしました。1960年代になると新しい政治制度で経済特区移住計画を立てたおかげで新しく低地からベトナム人が移住してきました。

**観光地**

サパは1990年代から休暇の場所としてベトナム国内の富裕層や外国人観光客がたくさん訪れる観光地となりました。最近は何千人もの観光客が毎年訪れています。旅行者はトレッキングをしたり、伝統文化を地元の人たちと楽しんだりすることができます。

(wikipediaとsapaochauより引用)





## フクナガで働くスタッフをクローズアップ! フクナガの愉快的仲間たち

タイヤ事業部  
川上 竜吾  
(カワカミリュウゴ)

●自分の性格をひとことで言うとは?

「明るく元気で調子乗り」な性格です。

●現在のマイブームは?

フットサルでのシザーズフェイント。シザーズフェイントとはドリブル中にボールの上を足でまたぐフェイントです。

これで相手を抜くことがマイブームです。

●仕事にかける意気込みをひとこと。

全国の建機ディーラーに大型タイヤ販売。



先輩社員  
からの一言

タイヤ事業部  
奥村 秀俊  
(オクムラヒデシユン)

タイヤ事業部は直接海外と取引を行うグローバルな部署です。大変な面もありますがその分、やりがいもたくさんあります。2人でグローバルに活躍できる人間になれるように頑張りましょう!!



## プルタブ・アルミ缶を集めて車イスを贈ろう!

vol.7



2010年からスタートしたこの活動も現在は、会員数425名とたくさんの方に参加していただいております。会員の方の中には、個人での参加はもちろん学校などの団体で参加して頂いている方もいらっしゃいます。

この活動は被災地や全国の福祉センターの方に集めたプルタブ・アルミ缶で車イスを贈ることができ、社会貢献として、お役に立つことができます。

昨年2013年は16台の車イスが介護老人保健施設や病院などに寄贈されました。みなさんも飲み終わった空き缶を集めて車イスを贈りませんか。



一般社団法人 **みんなであつめる福祉にひろがる会**  
担当: 中村  
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30  
TEL: **06-6969-3735** FAX: 06-6969-3611  
<http://www.pull-tab.or.jp/>

## 商品名を募集します!

たくさんのご応募をお待ちしております

前回のクイズコーナーのご応募とコメントをありがとうございました。

前回のクイズの答えは文化遺産でした。

今回はプロミシー事業部より新商品販売に伴い、**商品の名前を募集します!**

投稿いただいた名前の中から選考し、商品名を決定します!

商品はこちら。

(商品はフレコンバッグとなります)

### 商品特徴は

●屋外保管・紫外線に強い!

通常のフレコンバッグは屋外保管をしておくと、3ヶ月もすると劣化し破れが発生する場合があります。しかし、このフレコンバッグであれば、3年~5年保管しても破れない丈夫な仕様となっています。

●2トン荷重に耐えられる!

通常のフレコンバッグは耐荷重1トン対応となりますが、このフレコンバッグであれば2トンまで対応可能。重量物も安全に保管・輸送が出来ます。



投稿いただきました名前の中から、採用者にはクオカード

**3,000円分をプレゼント。**

発表は発送をもってかえさせていただきます。



プロミシー事業部  
宮本かねえ

また、名前を投稿いただいた中で「この商品が気になる! サンプル欲しい!」とコメントいただいた方には、抽選で**10名にサンプルをプレゼント**します。たくさんのご応募お待ちしております。

QRコード



応募先メールアドレス  
**feconews@ecosoft.co.jp**  
**FAX: 06-6969-3633**  
締め切り:2014年3月14日

### 編集後記

今回のメインページはベトナムのサバでした。私はベトナムには行ったことがありますがホーチミンだけで、サバについてはパソコンを寄贈するまで全く知りませんでした。今号でいろいろ調べてみて、とても魅力的な地域だと感じました。ホーチミンのようなフランス植民地時代に占領されていた名残りでフランス建築が多い街並みとは違い、サバは、自然も豊かで独特な文化を楽しむことができそうだなと思いました。徐々に観光地として人気が高まっているようなので、早く地域全体が発展し豊かになってほしいと思います。



松田紗和  
(まつだ さわ)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



発行元: 株式会社フクナガエンジニアリング  
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30  
tel: 06-6969-7657  
fax: 06-6969-3633  
e-mail: feconews@ecosoft.co.jp  
URL: <http://www.ecosoft.co.jp>

